生活と政治をつなぐ情報紙

生活者通信

No.297
2016.6.1

毎月1回1日発行
1994年5月23日
第三種郵便物認可

東京・生活者ネットワーク

■発行　東京・生活者ネットワーク
■〒160-0021　東京都新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 4・5 階
TEL03-3200-9189　FAX03-3200-9274
■ Eメール　tokyo@seikatsusha.net
ホームページ　http://www.seikatsusha.me
■発行責任者　西崎光子

■定価　年間 1000円・1部 100円
■郵便振替口座　00130-3-18417

熊本地震は続いている！
川内原発止めろ！

「熊本地方、大分地方で4月14日から発生した大地震から1カ月が経過した。
――被災された皆さまにお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます――

防災・減災のまちづくりは、私たち東京市民が取り組まねばならない重要課題だ。「川内原発運転止めろ！」原子力規制委員会（毎週水曜）抗議行動で、5月18日

東京・生活者ネットワーク

4月14日夜の発生以来、熊本県熊本、阿蘇、大分県中部と震源域を広げながら余震が続く熊本地震。国土交通省が定めている「地震地域係数」が、関東や太平洋沿岸地域に比して低い、地震が発生しにくいとされてきた九州地方を襲った激甚震災は、当初の「本震」が「前震」へと気象庁見解が変わるなど、それまでの地震のメカニズムや経験則が当てはまらない様相を呈している。

地震学者の島村英紀さん（武蔵野学院大学特任教授）は、▼本州から九州を横断する一大断層「中央構造線」上で日本人が体験した最初の地震▼地震には「本震余震型」のほかに、「双子型」や「群発型」があり、今回は双子地震だった可能性が高い、あるいは、今後によっては大きな地震が3つ以上ある群発地震となる可能性も排除しきれない▼阿蘇山の小規模噴火もまた、今回の地震による影響と見るべきで、そもそも南海トラフでの動きが九州の活断層に影響を与え、結果、熊本地震が起きた可能性は否定できない――と指摘されている。

地震列島日本に原子力発電所はいらない！

南海トラフ巨大地震自体は100～200年周期で起っていることから、いずれ必ずやって来る。そうなれば、南海トラフに並行して走る中央構造線への影響や、全国に連なる火山帯にも大きな影響を及ぼすことは想像に難くない。折しも5月16日、地震多発地域・茨城県北部で震度5弱を観測する地震が発生。東日本大震災以来活発化する地震活動は列島各地に及んでいる。

一方、熊本地震被災地域に隣接する鹿児島県にあり、今回の地震の震源となった活断層上に立地する九州電力川内（せんだい）原発は、今日なお稼働を続けている。運転継続を容認する理由について政府は、原子力規制委員会の判断に拠るとしているが、「新規制基準は『安全』を保障するものではない」と公言して憚らない規制委の数値上の判断を、私たちはどのように受け止めたらよいのだろう。福島原発事故のそもそもの原因は東日本全域に壊滅的被害をもたらした地震動にあったことは周知の事実である。発生から1月を経てなお1500回に及ぶ地震動を観測、群発地震の可能性も除外できない中、万一、福島原発のような事故が川内原発を襲ったら、九州全体が放射能の海と化すことは必至。政府、事業者は川内原発1、2号機の運転を直ちに停止すべきではないか。

同様に、今夏再稼働をめざすとする四国電力伊方原発も熊本地震をもたらした中央構造線至近に立地、中部電力浜岡原発に至っては前面に東南海トラフが横たわる危険極まる立地条件下にある。

今なら間にあう！「核なき世界」を標榜するのであれば、政府・安倍政権は原発回帰・原発再稼働を断念し、一刻も早く省エネ、地産地消を可能とする再生可能エネルギー社会への転換を急ぐべきである。

●東京・生活者ネットワークは、4月18日、米軍の新型輸送機オスプレイが地震被災地へ物資輸送を始めたことに、強い懸念を表明するとともに、再びこのような、市民主権をなきものにする暴挙を繰り返さないよう強く政府に要請するものである。緊急ヘリ輸送への対応が必須であるなら自衛隊所有の大型輸送ヘリCH47（60人乗り：約70機）が対応すべきであり、約30人乗りの米軍オスプレイを飛ばす必要性は皆無である。この機に乗じる安倍政治の姑息さを認めるわけにはいかないことを、強く主張するものである。

HOT NEWS

都議会ネット

■2016年都議会第2回定例会：6月1日～15日。知事の海外出張費の妥当性を検証するための検討会の検証結果報告。
■一般質問6月8日：西崎光子。閉会・討論6月15日：小松久子。

地域ネット

町田ネット
講演と対談　キッチンから社会が見える！　枝元なほみさんと大河原まさこさん
6月12日(日)　13：30～16：00　ベストウェスタンレンブラントホテル東京町田・地下2階「翡翠の間」（町田駅）
主催：町田地域協議会　TEL042-729-2296

中野ネット
水色サロン「僕がこども食堂を始めたわけ」
6月15日（水）18：30～20：30　野方区民活動センター 3階洋室C（野方駅）
お話：伊藤由宏（みんなの食堂代表）
TEL03-5356-8356

武蔵野ネット
基礎からわかる！電力自由化入門講座　電力会社のかしこい選び方
6月15日（水）18：30～20：00　吉祥寺西コミュニティセンター大会議室（吉祥寺駅）
資料代200円　主催：NPOむさしの市民エネルギー（連絡先090-2474-7911鎌内）

豊島ネット
DVD「遺伝子組み換えルーレット」上映会
6月18日(土)　10：00～11：30
西池袋第2区民集会室（福祉ホームさくらんぼ内）（池袋駅）
主催：豊島地域協議会　TEL03-5917-4272

品川ネット
子どもと教育を考える連続講座　第1回：品川の公教育を考える
6月18日(土)　10：00～12：00
きゅりあん5階第2講習室(大井町駅)　講師：藤田英典（共栄大学教授）TEL03-5751-7105

品川ネット
計画中止を求める飛行ルート第4回アピール・パレード
6月19日(日)　13：00～14：00
大井中央公園（大井町駅・品川区大井1-46-8）出発～鹿島かのえ児童遊園（池上通り）
主催：羽田増便による低空飛行に反対する品川区民の会（連絡先090-8022-5028秋田）

生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制（ローテーション）
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2 議員報酬は市民の政治活動資金に
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3 選挙はカンパとボランティアで
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。

生活者ネットワークは都内35の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

◎みなさまのカンパを募集しています。郵便振替口座番号00130-3-18417　加入者名「東京・生活者ネットワーク」